

## 令和5年度第2回海津市総合教育会議議事録

1 日 時 令和6年2月20日（火）午後4時から午後5時15分

2 場 所 海津市役所 東館 4階 4-1会議室

3 出席者の氏名

市長	横川 真澄
教育長	服部 公彦
教育長職務代理者	曾根 理仁
教育委員	伊藤 亮一
教育委員	大津 由佳
教育委員	伊藤 嘉保

4 説明等のために出席した者の氏名

総務部長	大橋 隆幸
企画財政課長	山崎 賢二
総務課長	伊藤 聡
教育委員会事務局長	後藤 政樹
教育総務課長兼学校給食センター所長 兼学校統合推進室長	後藤 英仁
学校教育課長兼教育研究所長	大坪 光
社会教育課長兼歴史民俗資料館長 兼図書館長	徳永 宗哲
スポーツ課長	米山 一雄
書 記：教育総務課係長	山田 佐智子

5 傍聴者

な し

6 議 題

(1) 海津市教育大綱について

(第3次海津市教育振興基本計画)

(2) 市内小中学校におけるいじめと不登校の実態について

7 その他

発言者	発言内容
教育総務課長兼 学校給食センター 一所长兼学校統 合推進室長	<p>それでは、ただいまより、令和5年度第2回海津市総合教育会議を始めさせていただきます。この会議は、市長と教育委員会の意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して、本市の教育行政に取り組むため、開催するものでございます。それでは、はじめに、市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
横川市長	<p>本日は、令和5年度 第2回 海津市総合教育会議を開催しましたところ、委員の皆様には、大変ご多用の中、ご出席をいただき感謝申し上げます。また、委員の皆様には、日頃より、本市の教育行政のみならず、市政各般にわたりご理解ご協力をいただき重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>この「総合教育会議」は、市長部局と教育委員会が市の「教育の課題」と「目指すべき姿」を共有するとともに、意見交換を通じて、今後の教育行政に活かしていく場であります。委員の皆様には、それぞれのご経験を踏まえ、様々な角度から、本市の教育に対するご意見、ご提案をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>そして、あいさつの冒頭でお話いたしますのは、能登半島地震でございます。最大震度7、津波、火災と三重苦というような災害がございました。死者240名を超え、7週間が過ぎた現在も1万3千名余りの方が避難され、インフラや建物などの被害も甚大であります。家屋被害は7万戸確認され、残った住宅3万戸余りで断水が続いております。被災者の方々は苦しい生活を余儀なくされております。海津市におきましては、発生後3時間後に緊急消防援助隊を派遣いたしました。その後、避難所運営支援、水道施設の被害調査、家屋の被害認定調査などの職員を派遣し、予定を含め30名ほどの職員が現地で活動しております。海津市としましても支援・復興に向けて継続していきたいと思っております。</p> <p>また、中学生の集団避難がございました。1月中頃から2月初めまで輪島市、珠洲市、能登町の800名の半数の生徒が避難しておりました。ようやく石川県内のすべての小中学校におきまして学校の活動が再開されましたが、「学びの保証」をしていく事がいかに大切かということをお今回の地震を通じ学んだところであります。</p> <p>そして、海津町地区の小学校では、5校の統廃合に伴い各校で閉校式が執り行われているところであります。これまで、4校の閉校式にまいりましたが、いかに地域の方々が小学校を愛されていたかと改めて感じる式典でございました。残すは、3月1日の西江小学校となりました。いよいよ</p>

発言者	発言内容
	<p>4月5日に開校式を向かえます。子どもたちが安全安心に学校生活をおくれるよう万全な準備をしているところであります。また、大江小学校につきましては、今回の議会で上程させていただく予定であります。「総合教育センター」を設置し教育の充実を図ってまいります。これまで教育研究所が担っておりました教育の調査研究、教育相談の機能を統合し、学校に行きづらい子どもたちへの教育支援、保護者を含めた教育相談、そして教職員の研修といった機能を総合教育センターに集約してまいります。学校に行けない子どもたちの学びを保障し、誰もが輝く海津市を目指し教育の充実に取り組んでまいります。</p> <p>本日の総合教育会議では、「海津市教育大綱について（第3次海津市教育振興基本計画）」と「小中学校における いじめと不登校の実態」を議題として、皆様方からご意見をいただくほか、教育全般についてもお話を伺いたいと思っております。海津市の教育が、特色と魅力ある、子育て世代に選ばれる教育となるよう、活発なご意見をお願い申し上げまして、あいさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしく申し上げます。</p>
<p>教育総務課長兼 学校給食センター 一所长兼学校統 合推進室長</p>	<p>本日の出席者につきましては、資料の表紙の裏面に付けさせていただきますのでよろしくお願いいたします。なお、本日の会議は、午後5時頃を終了予定とさせていただきます。</p> <p>それでは、議案（1）海津市教育大綱について（第3次海津市教育振興基本計画）、事務局より説明いたします。</p> <p>教育振興基本計画については、本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画であります。第2次教育振興基本計画と同様に第3次教育振興基本計画におきましても地方行政の組織及び運営に関する法律第1条の3による教育大綱と位置づけていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>&lt;資料により説明&gt;</p> <p>なお、本日の令和6年第3回教育委員会において、第3次海津市教育振興計画（案）をご承認いただきましたので、ご報告いたします。何かご意見ご質問等がありましたらお願いします。</p>
<p>伊藤（嘉）委員</p>	<p>第3次海津市教育振興計画の様々な施策を実行するにあたっては、予算配分によっても変わってくると思います。令和6年度は、既に編成していると思いますが、令和7年度以降も、教育予算の拡充をお願いしたいです。</p>

発言者	発言内容
伊藤（亮）委員	<p>教育の体系の「基本目標5 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上」と「基本目標6 スポーツ活動の振興」は市長部局に移管されますが、引き続き、教育委員会との連携は必要だと思います。今まで以上の連携をしていただきたいと思います。市長部局に移管した事業をどのように点検評価していくのか十分協議していただきたいと思いますと考えております。</p>
横川市長	<p>連携は絶対必要ですし、市長部局に移管しましても今までの取組をしっかりと継続しながら、子どもたちや市民のためにどういった施策が必要か新たな視点で取り組んでいきたいと考えております。評価の方法につきましては、十分協議して進めてまいりたいと考えております。</p>
大津委員	<p>認定こども園の先生方も、学校にスムーズに入れるように連携をしていきたいと考えておられます。学校入学後に支援が必要な子どもたちが増えていますので、市長部局の「こども未来課」との連携を密にさせていただきたいと思います。「SOSの出し方教育」ということで平田中学校にお伺いしましたが、社会福祉課に関わっておられるゲートキーパーの方々も積極的に子どもたちに関わってほしいと考えておられます。今までは、支援ボランティアなどの受け入れは、社会教育課がまとめていただいていたが、市長部局に移管されてもスムーズに学校と連携できるようにしていただきたいと思います。</p>
服部教育長	<p>昨日、社会教育と公民館運営についての会議がありました。社会教育課が市長部局に移管されることで、今までの活動が途絶えていくのではないかと心配のご意見がございました。今後も教育の視点からしっかり意見は言わせていただくことをお話ししたところです。これからは、少子高齢化を考えると地域づくりが一番大切で、それを推し進めるために繋がりを作っていくかなくてはならない。より一層、地域づくりをしていくために市長部局に移管する必要があることを説明させていただいたところです。</p>
曾根委員	<p>大変よくできた計画だと思いますが、組織を変えるという事は、デメリットが出やすい可能性があります。市長部局の担当課の職員が、教育委員会の定例会議で報告するだけではスムーズな運営はできないのではないのでしょうか。教育委員会事務局の職員と市長部局の職員が積極的に連携をとっていただき協力をお願いしたいです。</p>
市長	<p>その他、よろしかったでしょうか。第3次海津市教育振興基本計画を海津市教育大綱と位置づけ、施策に取り組んでまいりたいと思います。</p>

発言者	発言内容
教育総務課長兼 学校給食センター 一所长兼学校統 合推進室長	それでは、第3次海津市教育振興基本計画を海津市教育大綱として位置づけさせていただきたいと思いますが、ご承認いただけますでしょうか。
全委員	よろしい。
教育総務課長兼 学校給食センター 一所长兼学校統 合推進室長	ご承認いただきましたので、第3次海津市教育振興基本計画を海津市教育大綱として位置づけさせていただきます。 それでは、議案（2）市内小中学校における いじめと不登校の実態について事務局よりご説明します。
学校教育課長兼 教育研究所長	<資料により説明>
教育総務課長兼 学校給食センター 一所长兼学校統 合推進室長	何かご意見ご質問等がありましたらお願いします。
伊藤（亮）委員	中学校では「パソコンやスマートフォンでの誹謗中傷等」が多いということですが、現在、スマートフォンの所有率はどれくらいになりますか。
学校教育課長兼 教育研究所長	生徒の半数以上が所有しています。学年が上がるほど所有率も高くなっています。今では、小学生の高学年から所有する子どももいます。
伊藤（亮）委員	フレンドリールームに行った場合は、学校は出席扱いとなりますか。
学校教育課長兼 教育研究所長	出席となります。
大津委員	いじめ行為が目立ちにくい方向に推移していることがよく分かりました。スマートフォンの普及もあって周りの気付きも難しくなっていると思います。「SOSの出し方教育」を国も推奨し各学校で行っていますが、自立するということは、自分ですべて解決することではなく、相談することが自立に繋がるので、若いうちに声を上げて自分を守ろうと言ってあげようと思います。無気力・不安が原因で不登校になっている子どもが多いです。ストレスの感じ方はそれぞれですので、そういう子どもにも教育の場を届けていただいている海津市の取組をうれしく思っています。
伊藤（嘉）委員	無気力・不安の原因が何か、先生の専門性を活用して追求していく必要があると思います。30日以上欠席した場合、不登校となりますが、年度でカウントされますので3月末でリセットされ4月1日からゼロとして

発言者	発言内容
	<p>スタートします。前年度から次年度への引継ぎを丁寧にしていただきたいです。総合教育センターの設置につきましてありがたく思います。しかし、学校から一旦外に出ますとなかなか学校に戻るのは困難になります。学校の相談室等の体制や不登校の初期対応の学校での支援を充実していくことが大切だと思います。教育委員会の研修で西濃学園を訪問し、年間の費用が約150万円掛かるとお聞きしました。他市町では、財政的支援をしているところもあるそうです。海津市も支援について検討していただきけるとありがたいです。</p>
教育長	<p>西濃学園とは、教員の指導方法のノウハウなど連携を図ってまいりたいと思っております。</p>
横川市長	<p>総合教育センターの機能を充実できるように適切な予算を配分していきたいと思っております。市内の子どもだけでなく、市外の子どもたちも受け入れできるよう、事務局にお願いしたところです。</p>
曾根委員	<p>授業の展開がワンパターン化され授業についていけない子がいます。フリースクールも含めて学校と考えて、授業の遅れだけを支援するのではなく、少数の子どもたちの対応をお願いしたいです。いじめは、社会で無くならないと思います。いじめている本人は意識がなくやっていることもあり、難しい問題だと思っております。</p>
伊藤（嘉）委員	<p>不登校支援を充実させすぎると不登校が増えることもあります。先生方の専門性を生かし、必要な場合は、不登校の子どもの背中を押していただきたいと思っております。</p>
教育総務課長兼 学校給食センター 所長兼学校統 合推進室長	<p>今日予定をしておりました議題につきましては、全て終了したところでございます。</p> <p>以上を持ちまして本日の会議を閉じさせていただきます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>

閉会 午後5時15分